

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和５年度期末）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	日本語学校と地域との交流事業をすすめ、外国籍住民との関係性を築くだけでなく、新たな担い手につながる可能性を持った取り組みや社協等とも連携しながら地域からの要望の強い「スマホ講座」を実施するなど、今後につながる活動の支援を実施していることは評価できる。 まちづくり協議会の活動を紹介する「まちづくりフェア」は、有益な情報を得ることができるイベントであるが、参加者が少なく積極的な情報発信など開催方法の検討を要する結果となった。 地域に積極的に向き、まちづくり協議会の自律運営における課題やニーズを捉えたうえで支援をすすめていただき、まちづくりセンターがまちづくり協議会にとって「頼れる存在」となるよう期待している。

2 支援の内容及び効果等

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
A	専門性や地域性に対応できるスーパーバイザーやまちづくりサポーターの配置と毎週開催のミーティングにより支援員間の共通認識を高めることに努めるなど、支援体制、フォロー体制は充実しており評価できる。 また、区役所と連携して開催した制度説明会により、まちづくり協議会の現状を改めて確認できたことは、次年度にもつながる有益な活動であると言える。 今後も積極的に地域に向き、まちづくりセンターが有するファシリテート能力などまちづくりの専門的知識を活用して、まちづくり協議会の課題抽出や事例提案などが今まで以上積極的に行われることで、まちづくりセンターが「頼れる存在」となることを期待している。

3 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	利用者アンケート調査では、まちづくりセンターの支援に満足している割合は目標数値を達成しているが、自分の地域に即した支援を受けることが出来ていると感じた割合は達成しておらず、より効果的な支援の実施に向けて必要な見直しを行い、地域と積極的な関りをもち、地域の実情に即した最適な支援を行う必要がある。 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組み（イメージ）については、19 地域中 17 地域で 80%以上の達成率となっており、評価できる。

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	まちづくり協議会の在り方を検討し、活動の事例共有が行えるよう「まちづくりフェア」の開催や地域の枠組みを超えた「まちカフェ」の活動を実施するなど、多様なアイデアの提案や地域支援につながる活動は評価できる。 しかし、まちづくりセンターの支援が十分に届いていないという声もあり、積極的に地域に出向き、まちづくり協議会運営に関する課題やニーズの把握に努め、地域のコンセンサスが取れるように、支援の具体策を工夫していただきたい。

（評価基準）

- S：支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
A：支援内容や目標の水準を上回っている。
B：支援内容や目標の水準に概ね達している。
C：支援内容や目標の水準を下回っている。